

1 指定管理施設の概要

施設名	舞鶴市大丹生コミュニティセンター		
指定管理者	西大浦産業株式会社		
設置目的	市民の文化体育活動を促進し、もって豊かな地域社会の形成に寄与するため。		
選定方法	非公募	指定期間	令和6年4月1日 ～ 令和11年3月31日
所管課	生涯学習部生涯学習推進課		

2 利用状況等の推移

	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
利用者数(人)	9,559				
利用料金(円)	644,450				
指定管理料(円)	9,869,000				

3 成果(数値)目標の達成状況

成果(数値)目標の種類	市設定目標	年間目標(A)	実績(B)	達成率(B/A)
施設の利用者数	10,000人	10,000人	9,559人	96%

4 収支状況

収入		支出	
利用料金	644,450	人件費	4,315,937
指定管理料	9,869,000	維持管理費	4,636,739
事業収入		事業費	79,600
その他	56	その他	462,346
合計	10,513,506	合計	9,494,622
差額			1,018,884

5 所管課による評価

項目	評価	コメント
(1) 事業計画の達成度		
成果(数値)目標を達成しているか	△	令和5年度は令和4年度より利用者は減少したが、今年度は増加に転じ、96%の目標達成状況となった。単独事業の平日セット割やガチャガチャ特典サービスで利用者の施設への興味を取り込んでいる。また、吹奏楽団の練習場所としてアリーナを提供し、大浦ミニコンサートの企画に繋げるといったスポーツ施設の枠に捉われない利用方法を取り入れていれる。令和5年度から新たに開催されているラジコンのワークショップや体験会が新たな利用者層の利用増大につながっており、他の施設とは異なる趣向による利用増大の促進等により、次年度以降の事業に期待が持てる。
施設の将来的な構想(ビジョン)に沿った運営を行ったか	○	地区外からの利用者の取り込みも増加しており、地域住民交流のための拠点施設として利用されている。
施設の果たすべき使命(ミッション)を果たしたか	○	住民に広く開放され、文化体育活動等の促進のために利用されている。
市指定事業、自主事業は計画どおり行われたか	○	年間目標に若干及ばないものの、可能な範囲で実施されている。
利用者数の増加、利用率の上昇などが図られたか	○	施設の目的外利用提案による新たな利用者確保に努め、利用者数が増加した。
(2) 利用者の満足度		
利用者の満足が得られたか	○	施設利用者からは、清潔感ある施設を保ち、危険個所の表示をしているなど好感が持てる感想が寄せられている。
利用者の意見・要望の把握は適切に行われたか	○	アンケート・聞き取りを実施している。
利用者の要望・苦情への対応は十分に行われたか	◎	利用者の要望・苦情を聞き取り、利用者の安全確保、要望のあった備品の購入、耐用年数が過ぎた部品等の交換修繕などに対応している。
(3) 管理運営の効率性		
経費の節減が図られたか	○	節電・節水に努め、自前で清掃及び軽補修等できることは外注せず経費削減に取り組んでいる。

委託費、物品の購入費等の経費が最小となるような取組が行われたか	○	業務委託の複数年契約による割引利用を行うなど経費削減に努めている。
収入増加のための取組が行われたか	◎	スタンプラリー、ガチャガチャサービスの実施、さらに吹奏楽団の練習場所としてアリーナを提供し大浦ミニコンサートに繋げる事業の実施、施設の目的外利用提案によるラジコン体験会の実施など利用者増のための企画を積極的に実施している。
(4) 適正な管理運営		
適切な人員配置が行われたか	○	適切に行われていると思われる。
職員の能力向上のための取組が行われたか	○	研修実施や職員に情報の共有化を図るとともに、それぞれ問題意識を持って仕事に取り組んでいる。
施設の平等な利用が行われたか	○	適切に行われていた。
個人情報の管理が適切に行われたか	○	適切に行われていた。
情報の公開が適切に行われたか	○	適切に行われていた。
収支状況や会計処理が適切か	○	適切に行われていた。
施設・設備の法定点検及び保守が適切に行われたか	○	適切に行われていた。
備品等の管理が適切に行われたか	◎	毎回、点検管理、清掃等は丁寧に施され利用者にも好評を得ている。
危機管理、安全対策などは十分か	◎	速やかな危険個所の排除、修繕を行い、利用者が安全に利用できるよう安全対策に取り組んでいる。
法令等を遵守し、適正な管理が行われたか	○	適正に行われていた。
(5) その他コメント		
サービス向上	定期的な館内清掃を実施し、常に清潔で好感が持てる施設となるよう努力し、利用者からも良い評価を得られている。 新たな利用者獲得のため、ふるるファームと共同企画の平日割やアリーナ利用ガチャ、また、吹奏楽団と連携した大浦ミニコンサートの企画、施設の目的外利用提案によるラジコン体験会の実施など、施設間はもちろん、大浦地区の活性化を目指して実施、企画されている。 上記のような新たな取組を始め、利用者獲得に繋がるサービス向上策を次々と考案されている点は、利用率向上への期待感が持てる。	
経費削減	常日頃から節電・節水に努め、管理業務を委託する時は、複数年で契約し割引を得ることができるよう経費削減対策を実施している。 また、メンテナンス、清掃及び軽補修等は、自前でできるところは実施するなど節減努力が見られた。	
施設の維持・管理	昨年同様に定期的な施設点検を入念に実施し、備品等の安全確認と危険個所を発見した場合は、早めの修繕等、感染対策が実施されている。 緊急連絡票を作成することで、関係機関、施設間で連絡共有を図れる体制がとられている。	

※ (1)から(4)までにおける評価区分

◎(優)： 協定書、仕様書等の基準を遵守し、その水準より優れた内容である。

○(良)： 協定書、仕様書等の基準を遵守し、その水準に沿った内容である。

△(可)： 協定書、仕様書等の基準を概ね遵守しているが、内容の一部に課題がある。

×(不可)： 協定書、仕様書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な内容である。

6 選定委員会による評価

評価点	4.5点	※左記の点数は、各委員が次の5段階評価を行い、その点数を平均したものです。 5：良い、4：やや良い、3：普通、2：やや悪い、1：悪い
総評	・市内の多様な団体とコラボして、新しい企画をされていることは、大きく評価できる。 ・創意工夫で施設運営に努力して頂いているので大変評価できる。 ・適切に管理されている。 ・地域の活性化のため今後も活動してほしい。	

《参考》 過年度の評価点

年度	年度	年度	年度	平均
				点